

平成 28 年 度  
(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

# 事業報告書

公益財団法人 松尾学術振興財団

## 平成 28 年 度 事 業 報 告 書

### 1. 事業の状況

#### (1) 自然科学の学術研究助成（公益目的事業 1）

4 月 27 日に当財団の助成に関係すると思われる全国の 156 の大学・研究機関等に推薦依頼を行った。7 月 31 日の締め切りまでに 34 件の応募があり、下記の 7 件が採択された。

#### 第 29 回（平成 28 年度）松尾学術研究助成

推薦者	研究題目	代表研究者	助成 金額 (万円)
兵庫県立大学大学院 物質理学研究科 科長 赤浜 裕一	ガラス容器の熱い金属蒸気の 光ポンピングとスピン角運動 量の出力	兵庫県立大学大学院 物質理学研究科 准教授 石川 潔	350
東京工業大学理学院 理学院長 岡田 哲男	チャーブ断熱ラマン透過法に よる量子振動固有状態の実空 間イメージング	東京工業大学 研究員 星野 翔麻	200
東北大学 電気通信研究所 所長 大野 英男	冷却原子と金属ナノ粒子の相 互作用	東北大学 電気通信研究所 准教授 Mark Sadgrove	420
東京大学大学院 理学系研究科 科長 福田 裕穂	光格子中のボース・アインシュ タイン凝縮体における位相フ ラストレーション	東京大学大学院 理学系研究科 物理学専攻 助教 古川 俊輔	150
高エネルギー 加速器研究機構 機構長 山内 正則	熱エネルギー領域における負 ミュオン衝突実験の研究	高エネルギー 加速器研究機構 特別助教 的場 史朗	340
高知工科大学 学長 磯部 雅彦	時間反転量子光学系を用いた 弱測定による 2 光子状態の高 効率な観測	高知工科大学 システム工学群 准教授 小林 弘和	420
岡山大学 異分野基礎科学研究所 所長 久保園 芳博	レーザー操作可能な原子核準 位 トリウム-229 極低アイ ソマー状態の直接観測	岡山大学 異分野基礎科学研究所 量子宇宙研究コア 准教授 吉見 彰洋	320
合 計 (7 件)			2200

## <研究助成募集要項抜粋>

### 1. 助成対象研究分野

原子物理学及び量子エレクトロニクス・量子光学の基礎に関する実験的・理論的研究及びこれらを手段として用いた物理学の基礎に関する研究  
新しい創造的な発展の可能性を持つ萌芽的な研究を特に歓迎します。

- a)新レーザー分光学
- b)量子エレクトロニクスと新計測技術
- c)物質波・物質波光学
- d)電磁場中の原子過程
- e)特異な原子・分子構造とダイナミクス

### 2. 助成対象者

大学等の研究機関において自然科学分野の研究に従事している若手研究者  
推薦者 財団の定める全国の大学、研究機関、関係学会等

### 3. 助成金額と助成件数

助成金額 総額 2200 万円

件数 5～6 件(1 件当たり 200～500 万円)

助成金の使途 (1) 設備備品費 (2) 消耗品費 (3) 旅費 (4) 謝金  
(5) その他

### 4. 募集締切 7 月 31 日

### 5. 審査・決定

自然科学選考委員会の選考を経て、理事会において決定する。(9 月中旬予定)

自然科学選考委員会

(委員長) 藪崎 努 加藤 義章 北野 正雄 山崎 泰規  
渡辺 信一 五神 真

## (2) 褒賞 (公益目的事業 2)

松尾財団宅間宏記念学術賞

学術研究助成とセットで全国に関連する大学、研究機関に推薦依頼を行った結果、6 件の推薦をいただいた。厳正に審査を行った結果、下記の授賞が決定した。

第 20 回 (平成 28 年度) 松尾財団宅間宏記念学術賞 賞金 200 万円

推 薦 者	研 究 題 目	受 賞 者
レーザー学会 会長 加藤 義章	パワーレーザーによるプラズマフォ ニクスに関する研究	大阪大学大学院 工学研究科 教授 兒玉 了祐

### <学術賞推薦要項抜粋>

1. 対象となる研究分野  
原子物理学と量子物理学・量子エレクトロニクスの研究
2. 授賞対象者  
原子物理学と量子物理学・量子エレクトロニクスの研究で特に業績が顕著と認められる研究者で現に研究の第一線で活躍している者を優先(若手研究者を優先)
3. 推薦者  
財団の定める全国の大学、研究機関、関係学会等
4. 賞金と件数  
原則として1件 賞金 200 万円
5. 募集締切り  
7月 31 日
6. 審査・決定  
審査は前記学術研究助成の選考委員会が当り、理事会において決定する。

◎ 研究助成金及び松尾財団宅間宏記念学術賞の贈呈式は 10 月 27 日如水会館にて行った。

### (3) 調査研究事業（公益目的事業 3）

平成 28 年の学術界は、3 年連続のノーベル賞に沸いたが、一方では、「実用生産性に偏重する世論の基礎科学研究についての事実認識と価値判断の論理跛行(logical lameness)」、他方では、「大学運営費の減額、科研費採択率の低下、任期研究者の任期短縮などによる基礎科学を支える研究環境の年々悪化の実情」から、日本の基礎科学研究の将来を危ぶむ声も高まった。さらに、平成 29 年に入ると、『日本の科学研究はこの 10 年間で失速していて、科学界のエリートとしての地位が脅かされている』という趣旨の報道記事が検索調査で目立つようになった。

『基礎科学研究についての認識・判断の論理跛行に対するノーベル賞受賞者の指摘』の論素(logic element)は、科学研究における勿体的主体性(irreparable subjectivity)を問わない実用的有効性や生産性(useable objectivity)への偏重に対する危惧であり、望まれる認識判断は『文化としての科学研究』であった。

また、同じ論素の論理跛行が、日露首脳会談での四島問題（南クリル諸島と北方領土）でも露呈された。すなわち、主格と目的格の論理連関の跛行が日本の人文科学的認識・判断に観察され、グローバル化が加速し、高度な科学哲学的判断が求められる近未来の日本に普遍する問題であることが解った。

一方、2016 年の世界では、英国の EU 離脱とそれにまつわるロンドン市や大ブリテン島の認識に観察された『世界と地域の集合論的論理跛行』や米国大統領選挙におけるトランプ現象で顕になった『アイデアとフェノメナの二分律ハンドリングの論理跛行』など、人類の文明史を支えてきた論理的認識・判断＝人文的認識判断＝科学哲学的認識・判断に大きな動揺が観察された。

#### (4) 松尾音楽助成（公益目的事業4）

平成28年度は、5月20日音楽大学17校及び管弦楽団13団体に推薦依頼を行なった。応募（推薦）2件を受けオーディション及び選考委員会での討議を経て次の2件が採択となった。

第27回(平成28年度)松尾音楽助成

推薦者	団体名	助成期間	助成金額
Kuss Quartett Prof. Oliver Wille	Quartet Berlin-Tokyo 守屋 剛志(Vn) ヴァイオリニスト Dimitri Pavlov (Vn) ヴァイオリニスト Kevin Treiber (Va) ヴィオリスト 松本 瑠依子 (Vc) チェリスト	1年	200万円
桐朋学園大学 磯村 和英 特任教授	Quartet Amabile 篠原 悠那(Vn) ヴァイオリニスト 北田 千尋 (Vn) ヴァイオリニスト 中 恵菜(Va) ヴィオリスト 笹沼 樹 (Vc) チェリスト	1年	200万円

#### <音楽助成推薦要項抜粋>

##### 1. 助成対象者

本格的に弦楽四重奏に取り組んでいる若手の弦楽四重奏団のメンバーでメンバーの平均年齢が35歳までとする。〈メンバーの所属に関する制限はない。同一機関、同一大学等でもよい。〉

##### 2. 採択件数 1～2件

##### 3. 助成金額 上限は500万円

##### 4. 助成期間 1年

##### 5. 助成金の使途

研修・研鑽のためなら特に制限を設けていないが、助成決定の際に財団と協議の上定める。

##### 6. 応募(推薦) 音楽界有識者の推薦による。

##### 7. 推薦締切日 平成28年12月19日

##### 8. 選考方法

1)第1次審査 書類選考

2)第2次審査 オーディション 日時 平成29年2月3日

場所 OAG ドイツ東洋文化研究協会ホール

第1次合格者に対するオーディションで、課題曲は次のとおり。

A. すべてのハイドンの弦楽四重奏曲、またはすべてのモーツァルトの弦楽四重奏曲

B. ベートーヴェンの弦楽四重奏曲 op.18 全曲、op.59 全曲、op.74、op.95

C. 20世紀に書かれた弦楽四重奏曲

以上のA. B. Cから各1曲を選択し、計3曲を演奏します。

注) 2年連続でこのオーディションに参加するグループは、A. B. Cのすべてにおいて、前年度とは違う課題曲を選択してください。

尚、前々年度以前に演奏した課題曲を再度選択することは可能です。

選考は次の選考委員会で行う。

(委員長) 岡山 潔 大谷 康子 川崎 和憲 澤 和樹  
原田幸一郎 山崎 伸子

9. 助成の決定 選考委員会の選考を経て、財団理事会において決定する。
10. 研修成果発表 平成30年2月18日(日)マツオコンサートにおいて成果発表演奏会を行う。

#### マツオコンサートの開催

音楽助成の成果発表の場としてのマツオコンサートは昨年度助成の下記2団体により次のとおり開催した。(尚、奨励の一団体は日程の都合で欠席された)

##### 第24回マツオコンサート

開催日 平成29年2月26日 13時30分～

会場 よみうり大手町ホール

出演者と曲目

##### Quartet Amabile

篠原 悠那(Vn) ヴァイオリニスト

北田 千尋(Vn) ヴァイオリニスト

中 恵菜(Va) ヴィオリスト

笹沼 樹(Vc) チェリスト

曲目

ヤナーチェク：弦楽四重奏曲 第1番「クロイツェル・ソナタ」

メンデルスゾーン：弦楽四重奏曲 第2番 イ短調 Op.13

##### Quartet Berlin-Tokyo

守屋 剛志(Vn) ヴァイオリニスト

Dimitri Pavlov(Vn) ヴァイオリニスト

Kevin Treiber(Va) ヴィオリスト

松本 瑠衣子(Vc) チェリスト

曲目

ベートーヴェン：弦楽四重奏曲 第13番 変ロ長調 Op.130

＋大フーガ 変ロ長調 Op.130

聴衆 433名

## 2.会議等に関する事項

### (1) 理事会

開催年月日	議 事 事 項	会 議 の 結 果
平成 28 年 5 月 19 日	1)平成 27 年度事業報告書承認の件 2)平成 27 年度決算報告書承認の件 3)評議員会開催の件	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決
9 月 23 日	(決議の省略により開催) 1)第 20 回松尾財団宅間宏記念学術賞 決定の件 2)第 29 回松尾学術研究助成決定の件	提案内容に全員賛成 の回答 提案内容に対し全員 賛成の回答
平成 29 年 3 月 6 日	1)第 27 回(平成 28 年度)松尾音楽助成決定 の件 2)平成 29 年度事業計画承認の件 3)平成 29 年度収支予算書承認の件 4)自然科学選考委員長の交代・選考委員委 嘱の件	全会一致で承認・可決  全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決

### (2)評議員会

開催年月日	議 事 事 項	会 議 の 結 果
平成 28 年 6 月 7 日	1)平成 27 年度事業報告書承認の件 2)平成 27 年度決算報告書承認の件	全会一致で承認・可決 全会一致で承認・可決

### (3)選考委員会

開催年月日	議 事 事 項	会 議 の 結 果
平成 28 年 8 月 30 日	平成 28 年度松尾学術賞審査・採択候補選 出の件 平成 28 年度松尾学術研究助成審査・採択 候補選出の件	全員一致で決定  全員一致で決定

### 3.処務事項

発生年月日	項 目	備 考
平成 28 年 4 月 27 日	第 20 回松尾学術賞・第 29 回松尾学術研究助成候補者推薦方依頼（大学他）	
5 月 20 日	第 27 回音楽助成候補推薦方依頼（音楽大学他）	
5 月 19 日	理事会 平成 27 年度事業報告書・収支決算書承認の件他	
6 月 7 日	評議員会 平成 27 年度事業報告書・収支決算書承認の件	
6 月 29 日	平成 27 年度事業報告書・収支決算書 届出 公益認定等委員会	
7 月 31 日	松尾学術賞・学術研究助成推薦応募締切り	
8 月 24 日	年報「第 28 回事業報告書 2015」刊行	
8 月 30 日	松尾学術賞・研究助成の選考委員会	
9 月 23 日	決議の省略による理事会 第 20 回松尾財団宅間宏記念学術賞・第 29 回松尾学術研究助成決定	
10 月 27 日	第 20 回松尾財団宅間宏記念学術賞 第 29 回松尾学術研究助成金 贈呈式開催 如水会館	
12 月 1 日	マツオコンサート入場希望者受付開始	
平成 29 年 2 月 3 日	第 27 回松尾音楽助成オーディション・選考委員会	
3 月 6 日	理事会 1)第 27 回(平成 28 年度)松尾音楽助成決定の件 2)平成 29 年度事業計画書承認の件 3)平成 29 年度収支予算書承認の件	
3 月 13 日	平成 29 年度事業計画書 平成 29 年度収支予算書 届出 公益認定等委員会	